

秋子さん
といっしょ
17



For
Adult Only

fol



あれから
数ヶ月…

あの日
あの時…

4
4
4…

4
4
4…

秋子さんは
一つになった

確かに
俺と—

今でも変わりなく
当たり前前に接して
いるわけだし—

まああの時が
特殊な状況で
あったのは間違い
なく…

あの時以来
何もない

だが今はと
言うところ



ご褒美と言うう名の
スキンシップは
いただいているので

「おっちゃん
「おっちゃん」

どうやら
嫌われたわけでは
ないらしい



セックス
してえろ!!

禁断症状つてのは
正しいのよ!!

秋子さくらん



ああ…

なんていい
香り

こうなったら
もう一度この命…

懸けるか!?

休日部活
大変ね

うん、でも
好きでやってるから

お母さん
行ってくるね

がんばってね
名雪

うん♡

そうか…
今日は俺と
秋子さんは
二人っきり…

チャンスか?
何のチャンスか
知らないけど

バタン…

あの…
秋子さん…?

とにかく何か
きっかけを…

はい?

何か頼まれ事は
無いっすか

何でもお手伝い
しますよ!



あ

轟沈!!

ごすよねー



いえ、今の所は
ありません

もいばー



お風呂
掃除…

や…
やりま
すか!

でも…



とまあわけて
お掃除して
ええええ



私がやろうと
思ってた事なので

やっぱり
いいです♥

再び轟沈!!

いや、しかし
簡単には
あきらめんぞ！

なんとか
手伝わせてもらおう！

秋子さん！

良かったら
手伝いますよ！

風呂じゃなくても
何だって…

えっ!?

…

っ

お風呂掃除中に
入ってきちゃ
ダメでしょ!?
下はいてない…!

はっ!?



あ…秋子
さんの…

おいしい
だー！

とんっ！

おは

あ…
あ…

秋子さくらん！！

たまんねえ！
秋子さんの
ふわふわおいしい！

ちよ…
ううっ！！

えい

祐一さん？

この感触…
この肌触り…

だ…

ダメですってば

あーもう
たまんねえっす！

あっ

アッ

アッ

しましろうね
祐一さん

いい加減に…

10

うわっぶー



とっておきが
あります

とりあえず
出ましようか

濡れた服も
着替えないと

一つだけ...

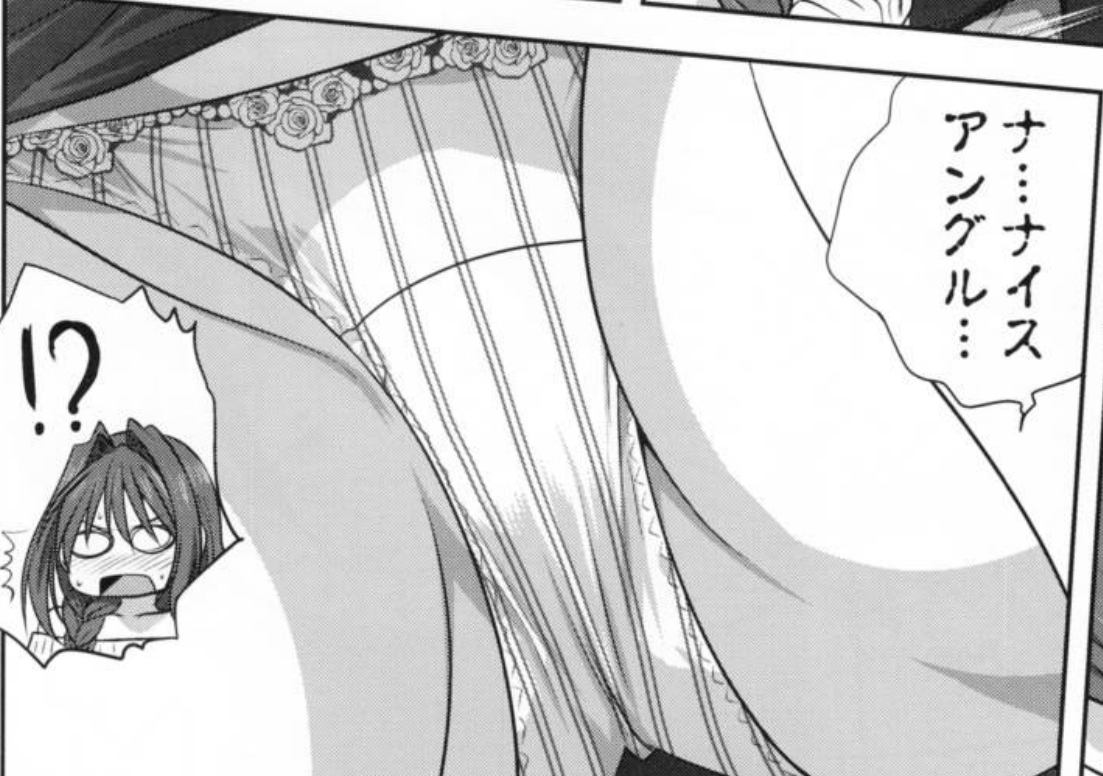
わかりました
そんなに手伝いを
したいと言う
んでしたら...

はっ?!
俺はいっ!
何を!?

まったく...







何が悪かったの
かしら…

ヒュン
ヒュン

ギ
ギ

……

ほめ

ほめ

と…とりあえず
部屋で休みましょう
祐一さん

え…ええ…

歩けますか？

一応…

ほめ

ほめ



わかって
います…

ご褒美
ですよ…



わかっては
いるけど…

あの後…私も
怖かった



でも…
ただ闇雲に
性欲にふける
なんて…
違うと思うし

かと言って
キツカケも
なくて



あの時の
一時的の気の迷い
だったなんて
そんなのもイヤ

どうしようもなく
祐一さんの身体を
求める自分が…
心のどこかに居る





パンパンに
膨れあがって…

こんなに…

う…
あ…
秋子…さん…



脱げない…

ひっかかって…



ただでさえ
祐一さんのは
ちよっと大きめ
なんだから…





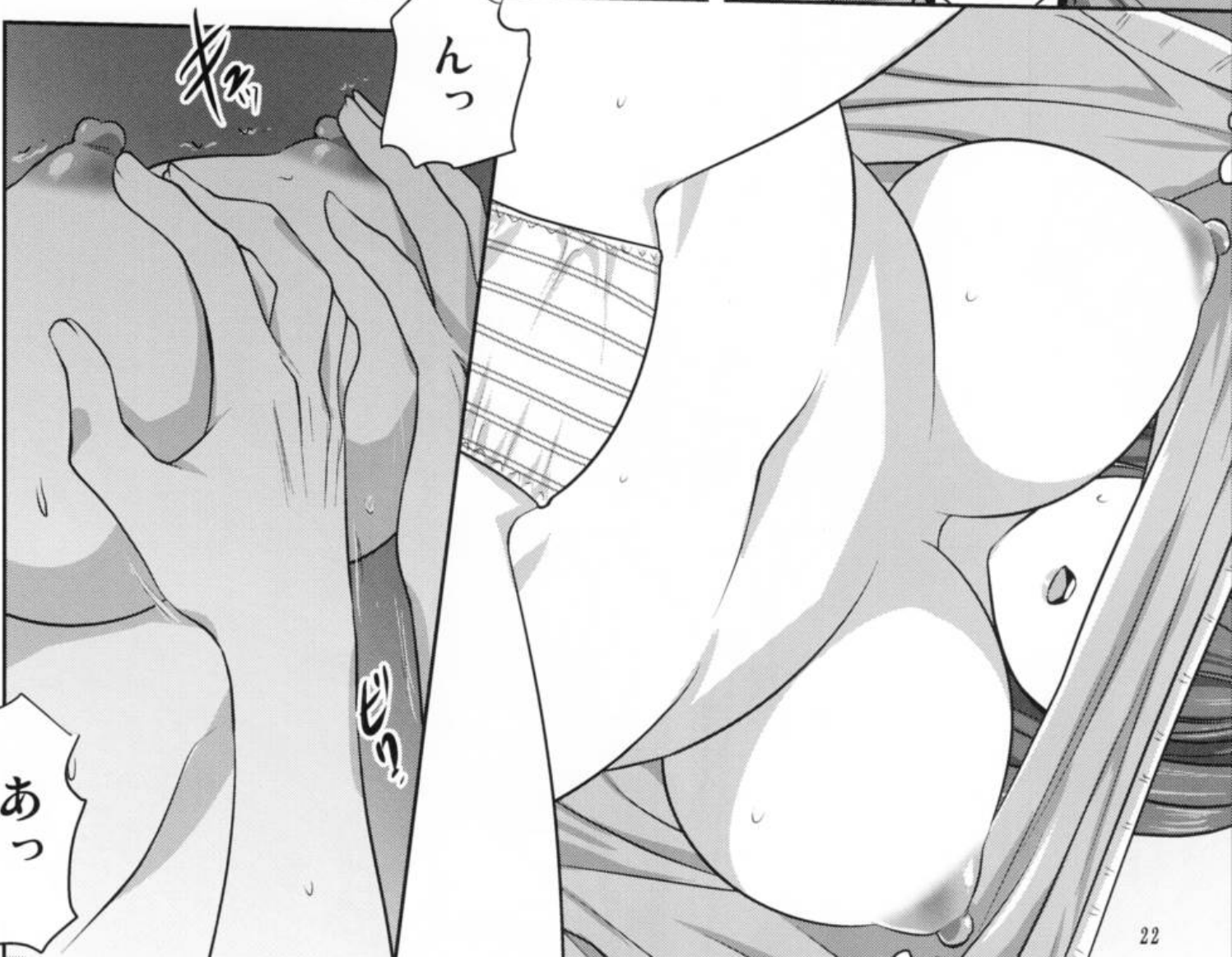


すごい…
秋子さん…



あんまり
見上げないで
くださいね…

恥ずかしい
から…







んっ

あっ

あっ

やっ

だめ…

あっ

ほっ

ほっ

やっ

んっ

やっあ…

ああっ

ぬっ

じっ

ほっ

ほっ

ほっ

ほっ

ほっ

ほっ





うっ!!

んっ!!

出...

う...

あ
あ
あ

う
あ
あ
あ
あ

ん

ん

あっ

う...
あっ!
びん

んっ
ん

ん
ん



出したばかりだからちよっと

元気ないですね

再チャージ
しましょうね

あ

はあ
あ



あ

うっ

んっ

そんなに乳首気持ちいい？



あっ

あっ

あら...

ふふ... えっちな顔...



カッチカチ♡

もう...

えっちな息子さん♡



仕方ない
ですわえ
最後まで…

ぬ
ちゅ
ほ
あ
ほ

ん

あ…
あぁ

あ…っ

あげる♡

ん

ん…

ん…んっ!!



く...

あゝ

ん

ん

あゝ

すごい...
秋子さんの
膣内...

お尻の穴...
まる見え

秋子さんの

段差が中で
擦れて...

祐一さんの...

あゝ

あゝ

あゝ

ん

フン

フン



気持ちいい...
祐一さん...

もう...
飛びそう...

あ

はっ

あ

はっ

はっ

はっ

あ

あ

あ

あ

あ

あ



く...

いくよ...

秋子さんっ

んっ

あっ

んっ

んっ

祐一さんっ

秋子さんっ



これも……褒美
ですか？

もう体
治ってるん
ですよ？

そうですよ
ご褒美ご褒美

もう……
赤ちゃん
みたい

赤ちゃん
プレイ

うっ



それは……

……で、あのジャム
何が入って
たんですか？



秘密です

ミツだけに！



END

あとがき

毎度ありがとうございます。僕です。
毎度ではありますが、最後まで読んでいただき
ありがとうございました！

一応、前回の続きということもあってか
ネーム作業は割りとスムーズに行き
没をあまり出さずに済みました。
ペン入れ後の仕上げ作業中での線画修正も
今回は比較的少なかった気がします。
一度描いた原稿を後で見返すと
とてつもなくダメダメだったりするのは
何なんでしょうね？手癖になってるのかなあ。

とまあ大した話もなく今回はこれで終わりです。
次回もどうぞお楽しみに！

奥付

秋子さんといっしょ17

発行：みたらし倶楽部

発行者：みたらし侯成

発行日：2015/12/31

印刷所：太陽出版株式会社

E-mail: m-kousei@rapid.ocn.ne.jp

Web: <http://mitarashi-club.sakura.ne.jp/>

みたらし倶楽部
PRESENTS

秋子さんといっしょ 17

